

短紙筒移植機と多畦収穫機等を用いた てんさいの狭畦栽培

農研機構 北海道農業研究センター 大規模畑作研究領域 大規模畑輪作グループ
津別町農業協同組合、日本甜菜製糖株式会社、サークル機工株式会社

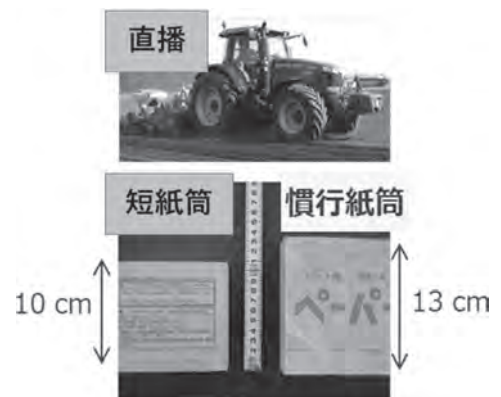
1. 成果の概要

このてんさい狭畦栽培は、短紙筒狭畦移植機、自走式多畦収穫機等を使用し、1年間に1台あたり、移植機は60ha、収穫機は140ha以上の作業が可能です。短紙筒狭畦移植栽培は慣行の移植栽培に比べて収量が14%向上し、収穫物当たりの生産コストは低下します。

2. 成果内容

(1) 栽培法と機械

- 直播栽培と移植栽培どちらも条間50cmの狭畦栽培（密植）です。
- 移植栽培には短紙筒苗を使います。
- 移植作業は、狭畦栽培に対応した移植機（6畦）を用います。
- 収穫は直播栽培も移植栽培も自走式多畦収穫機（6畦）を用います。
- これらの作業のうち、移植作業と収穫作業は作業組織が担います。



短紙筒狭畦移植機（条間50cm）



自走式多畦（6畦）収穫機